

■神奈川県中小企業団体中央会

「環境経営ネットワーク」

59号 2004/08/05 発行

■環境マネジメントシステムにはどのようなものがあるか

1. 代表的な環境マネジメントシステム

近年の地球規模での環境問題に対して、それにどのように取り組んでいくかがわれわれ人類の大きな課題となってきています。

このための環境マネジメントシステムとして、国際規格である「ISO14001」、環境省主導の「エコアクション2.1」、民間主導の「エコステージ」等があります。以下、その概要を紹介します。

2. ISO14001

環境への取り組みに対し最低限実行すべき要求事項が国際的に検討され、1996年に国際規格「ISO14001」(環境マネジメントシステム-仕様及び利用の手引)として制定され、現在広く普及してきています。組織は環境方針を決め、組織が抱える環境課題を明確にし、その対策を計画し、実行し、チェックし、適切な処置を取るといふ、いわゆるP D C A (Plan-Do-Check-Act)の考えに沿って運用管理することになります。

ISO14001に取り組む多く組織は、審査機関の審査を受け認証を取得しています。この認証取得に係わる審査機関や審査員については国際的な基準が定められていますので、その認証に対する信用度は国際的にも高く評価されるものとなっています。

なお、環境マネジメントに関連する関連規格として、ISO14001を更に発展させるガイドラインとしてのISO14004や、環境パフォーマンス評価のISO14031等、多くの規格が用意されています。

3. エコアクション2.1

環境省は国内での環境への取り組みの輪を広げるために、ISO14001の簡易版とも言える「環境活動評価プログラム」(エコアクション2.1)を1996年に策定し普及に努めてきています。組織の取り組みを容易にするため、環境への負荷の自己チェックや環境保全の取り組みの自己チェック等、各種資料が用意されて

います。

2004年より、それまでの運用結果を踏まえ、新ガイドライン・認証制度を備えた「エコアクション2.1」：2004年版が運用されることになっています。

この改定では、PDCAの導入による継続的改善への取り組みやコミュニケーションツールとしての環境活動レポートの作成・公表機能が盛り込まれました。

いくつかの自治体では、エコアクション2.1を参考に地域の特徴を反映した独自の環境マネジメントシステムの普及を図っています。例えば、「KES（京都・環境マネジメントシステム・スタンダード）」、長野県飯田市の「南信州いいむす2.1」、埼玉県の「彩の国エコアップ宣言」等があります。

3. エコステージ

民間主導の動きとして2003年に全国組織となったエコステージ協会（UFJ総研が主導）が推進する「エコステージ」があります。ISO14001に準拠する独自の環境マネジメントシステムを活用しながら、環境経営の導入とレベルアップを目指しています。

5段階のステージに分けて評価する制度で、第1段階は環境マネジメントシステムの重要なエッセンスのシステム構築・運用レベル（エコアクション2.1と同等レベル）、第2段階はISO14001要求事項と同等レベル、第3段階以上はシステム改善が有効なレベル、パフォーマンス改善が有効なレベル、原価改善と情報開示が有効なレベルとなっています。

現在、システム普及と併せて、評価機関、評価員研修機関等の整備・拡大が進められています。

4. 環境マネジメントシステムの比較

ISO14001、エコアクション2.1、エコステージとは補完関係又は競合関係にあるといえます。これらの相違点のいくつかは次のとおりです。

(1)エコアクション2.1及びエコステージは、認証取得・維持費用の低減により、中小企業の環境マネジメントへの参入を容易にしています。

(2)ISO14001は客観性・公平性を保つために取り組み組織への支援と審査員の立場を明確に分けていますが、エコアクション及びエコステージは取り組み組織への支援と評価人又は評価員を同一人が行うことにしています。

(3)エコアクション2.1及びエコステージは、環境パフォーマンス評価や環境報告書の要求をしていますが、ISO14001は関連規格として対応しています。

(4)日本におけるISO14001の認証組織数は13446(2004年6月1日現在)、エコアク

ションの参加登録事業者は 1000 件超(2004 年 3 月 24 日現在)、エコステージの認証組織数は 50 件(2004 年 4 月 13 日現在)となっています。

貴社においてどのようなシステムに取り組むべきか、お迷いの時は当センターにご相談下さい。

神奈川県技術士会 環境マネジメントセンター 木村隆志

「環境経営メールマガジン」の全過去ログを見ることができます。

<http://itnet.chuokai-kanagawa.or.jp/chuocomdb/mm.html>

また、環境経営メールマガジンの他にも、IT、生活、技術などメールマガジンを発行しております。(上記 URL で内容を参照できます)

是非、ご一読を・・・!

神奈川県中小企業団体中央会 <http://www.chuokai-kanagawa.or.jp/>

メールマガジン「環境経営ネットワーク」